續膝栗毛十一編 上

廿一

へ 13
3286
39

門へ13
號 3286
卷 39

昭和十六年一月十一日寄贈
尼野貴英氏

文庫

序

[illegible]

十日の尺四寸ばかりの金色の[illegible]の
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

留侯も玉杯をつまして曲水の
あそんをまねぶとて杯を流
ごとくに天王寺のうぶすなの
ごとくに杯を流しつゝ杯の
中に子供でうに陽南が出てあるを小云つゝ世
間に弁はさのゝ〳〵れうて詩を流の手書にも稀なる種
いとゝ紀人あかつて後ふこせ乖離をしるの月を待ぞ合
奥をぬ人のよれるを皆仕をしてまぐるも此うへて
雲と地の至をみてゞゝつの世地書を天上人ゝ有者

さらせ為おふ貸こもの方うゝ。邯鄲の世をる工夫を
世てゞゝ〳〵おもを為ゝもの為べゝ其後の事へ
何紙しても言先をのゝ〳〵れ神を誠仏を書つる命
論為ゝ為ふとゝ年八百て為ゝ武ふがゝ
ゝゝ同言金ゝふ紙を思ひきゝ月うゝさゝる
也〳〵編ゝ合きゝ雲もの續、十二編目のに序
さゝ色ゝゝゝゝ事志すゝ

文政辰子四月　十返舎一九誌

上州榛名山風景

五返舎年九

中山道
驛中
傀儡女
後朝
別惜之圖
十返舍

舌代

膝栗毛當年満尾を積先達の御披露を上仕る
作者勃向右嵩を憚彫刻憚ある故
先例年々通二度十一編ずつ美中人来年年
十二編迄全く結尾仕ひに付兼る中上仕通両人法
華経経巻第幸を内に美入材料御間を以方様
皇上件の何卒御諒察宜敷奉願上候

版元　述

續膝栗毛十一編　上冊

東都　十返舎一九編

我俗小枝葉生茂る沢辺の松ハもしをれ小別れ
て。長生やせんぎ〳〵。徐福軍茶の始皇ハ長生の薬
を需んして。蓬瀛といへる。金財の山を法
きしいまゝ。をとゝ星ふして。終よ深ぐく。をてを
法師入しちあり。て。蛇もこゝ〳〵ぜど蜂もこゝ〳〵ぜど形ん。
り〳〵長生の芝をえんとちなしべ。價ゑびゝ二百銅

草津の温泉にて
五返舎
半丸

ふして。旅宿屋の仮ふしゐくらの形し。旅人葉ゝかの小
ゝ人ゝられど。そ主元祖ちゝの欠蒲。夢ひゝゝぬ寝後
ちゝの草枕ゐどへさもあるべし。懐中小相愛の賜
さへ主ゐ恵神同於。雲助の足とゞかしきゆ逢ゞも。
ちゝとひきゝゝふ異ゝ見ゝる現代の法主ゝ。ゐゞゝ
らへ女房ゆへ留主とゝ世て変ゐ長ゞ。仮蓋ゐ忘れ
主の武主ゝも意俗ゝの河ゝ喧ゝゝつゝて大俗ゝ阪
螺をふくゝゝはゐもあるゞ。掛ゝの影級ゝ

見ゞれゞ傍金ありてもかゝゞ義ハ相人
あげてあき。程ハ歩ゝ元蒲菅のゆふ入もおき
りゝ朝霧ゐ人とゝゞ遠ゝゝ霧ゐゞゆふ
ゝも答ゝゝの形ゝ残ゝ井ゆて馬ゝの茶ゝ
情ゝゝて仏ゝを掘ゝたゝゝゝゝゝの蒲ゝ
仏ゝふゝゝゝゝゝゝゝゝて元祖ゝゝ命ハ茶
祝のゝゝゝゝ串ゝゝの横ゞへも遠ゝ悪ゝゝ。ゝ体ハ
ゝゝゝゝのゝ井ゝ法井。ゝゝゝふ命の法羅

でんまの思の当をもつ。内をもつるものの旅歩行こそ
延命の業なるべし。浦路の命を惜
まひて出るるゆへ。國より待ちつかれ。妻子ハ名残
ども宿賃の借百貫ばかり出生しに、
まづ有生とのこるるれば。なまこの三杯をかぐ〳〵さとし
がふ吉なり。何〳〵。第津湯治もそこそこおして。
諸掛等ふ多ふそくなき路用をはたひて。さるに
よりハ面てをもるる道中。公びそくも第津をそを出。

其の原さしてそこぐりたる。乃そこして
ふさ〳〵ものの草津。出ハ如をもちなる
さみ〳〵。雙ハ世ハ稼をもの〳〵
さて〳〵殺ハちくても雑といつるのハいつものごハ法さん
おめ人ハとふさぐ〳〵ヘ名ぐ〳〵毎ぐ〳〵ぶけの路用が。おるる
ふ〳〵でさるるをそくてちる。稼人湯治場で上ちるものふ
かりとうとくあるハ。二女の菓子の折を。棒ふるハと
こ〳〵。もウ。ちんでもこをそを稼人で。ハりやア。おめ人がおんまう

あれ見るこいつのことぞ。ゑんぞと考へきのかのよさこぶれが
ゐ様をかをとりのゐ様をぞうあれちでも。考へをいひ
うけこ久をこど。あるともかを様人がきれてあきれうア。ゆる
ゑんどこせんは居んゐぐ。考へこりふ人さへまこで。
ヤア久さあいうア。あんまりゑもぐせいて。まゐをと洗うん
ちんぐ。されこいこふア。寄所飛を流をぐ。トあうのゐ川
そうぎうわを引あまこが殺をまをくうや。まゐぐひぐ
あうをぐどいくうをうしくゐ様をうあれちん

ヨこうゐて。まうこへ。ちをこへ大変うをこと。考へこと言
様べきこへまゐへのまゐをひをうしてうをや引
ソレにうひ日せへトこうをうゐうをうゐて様をうをうをうこ
まゐぐひぐ。ヤア。ゐぐこのまゐぐひのをしがゐうこ
あうへ様やめてきうゐアゐがこをうれ様へうさ様
ま様ま。ゐをこをこぐこもいこ考ア様へうあんどこ
ぐやアあるゐへ様ヤアあんどこ。ゐもをうこよ様をん
ゐうこヤアあんどこう。ゐ様でゐこ分考へれ白ひが

まつとおかつぐ。コレまめ。ゑぼうぜ。まめぐのごとくいりて。お
きふ。ふんどし。ゑ。新をふうせ。入ヘヤおらアまめぐひ
みもつくろうさ。ソレぞこのう。泊の晩。まつ。ぐふんどしを
ヨまれことがあいゆ。ことそれで。月出ぐろう。田代へ
ヒ。ヨまつこと。ゑ。富の女よ。拵んで。その手拭のたしをとらけ
てあらいて。褌ゆ。ちこう。まつ。紙をとべ。て。新ちふう
ふもまろう。さ。ぐろう。ぐろう。ぐ。ぐろう。ぐ。ぐ。ぐ

京都書
一雅
汁屋

[illegible]

[illegible]

[illegible]

あつの車よ　市をこて　まつをべ

ハ　ハ　ハ　

ふんどーざる[illegible]をやぐひろふんどーっ。ごろ
ちごろ。むどロ〜ちゃア[illegible]と兼ゆり〜[illegible]ぶあ
ざふとくちゃア。あんでもコリヤ村の用ゑで。きこるいかめと
あ〜つちゃアきるるい[illegible]でも考へ〜。考へごが
稲へでやア稲へ久[illegible]そふいつてもごろきちゆやアるーるい
コレ若ふれく。ふ[illegible]つもと在宅どんへひこざ[illegible]てくを
前夢い[illegible]そちゃアく[illegible]ト[illegible]
[illegible]ふんどふるく。そんどるゆ[illegible]
[illegible]

ロ〜ちゃア強のりので。考へ稲へのごろ〜。不当[illegible]して
えるは[illegible]ト[illegible]
[illegible]稲[illegible]ふんどあのふんどーと[illegible]へうい[illegible]ちゆ〜と
どろうでおい〜アそんどめるよあろと。めゆーろ山ゆ〜ごと
米多へでもい[illegible]でおりてへかのごがそごちのきゆ〜むゆん
〜ふかのごろ〜。あるくそごがゆ〜稲へ。コウおゆへのふん
どーとどい〜で。ちろるかと稲へう〜あまふふんどじ
で。新とふるせとむろひぶ。〜きくめ〜〜コサ〜〜ひど

[illegible]

[illegible]

[illegible]

うき世絵川
五明園
未賀
全
濱野
吉奥
神
ぬきて
春の
こころの
ゆ
ゆ
ゆ

一度も志ら形人あうしいらんぺどぐちのるる所
あうしいさいて。きびくで茶と参るあるもあるめ人。きび
しき人様人こりておかを人服をうをもあるめ人じゃや
様人人間三形しんうちぺどふしとうてかを人のうぶらうの
きりさうちで。雪落とうとうと付。きび様もうを様人きり人
どうくとうと人をとふを。きびぐ様人撫をうけて。巨特
ふうてあううとうびふつとそうてどうでもふしやで長。
賣を形つとうや撫へ。沙竜とはれうけ。トあを泊の鶴
きどう鶴

句とはあううの
あのとうを人をうぐ
きりて。きとうが。よくはをんがぶぶれをうを。ぶをのかうで。
がいふをうんがうのかうあめがぶぶれをうを。今の
るめのびくうんぶでのをちふのうをふうらうめかめを。
ひをいうみいうをうふとうがをてのもで。きびハうを長うび
をもんのけて。あんでるをうを出て。自分がうれいとくかい
かあのひを様入あ自分うを指ぶをとをを出て。多偏く様食
をひうぶうをきうを。そををハう。物るをとをくぶれうして。

麺持よりたうし。十能八ぢそうみゝ。まご寿妙ちご
ぢんさア。ろんのうを志うて。業とうせ。盆人の用
ゝと。稲ゝどよりさ段させうゝひごゝ。ちろ利うり米
ゝびとまうもぐそ。やア志ゝ。くちとあいと帯よ
会仏まもう。正月のかうう業アでけてゐて汚瓶縄
まるゝ。七月のまゝ完。待ちめとまれよまる。名仏薬よ
あうゝと。豆あの帯よ条ゝとまうゝ。ぶんぢうゝ江戸ゝう
まゝ仏所条ゝよ。ゐゝけまうアうゝせゝご。歌也ゐ年

まうよ名ゐゝとまゝ世。みぢうのかゝまよ陽秋。ふぐうの
おゝまよ縛の縄。世まのかゝう。儀を二ひゐうゐ年人まゝて。
お彩也まう一体で。推条ゐ綿毒比須大年年で氏まつゝ。
性ゐひゝけで。まうまとはゝうゝ。まぐゐいる。ゐ也まゝん
病弁りゝぐまぐ。まうれぬゝまゝ。番所ゝあゝう
あひ。よゐハ高ゝ中ゝて年也ゝ。盆いゐ年せで近ひまうて
ゐうちまゝゝ。ゐ上ハ松ゝのゝ。りゝあゐべ志ぐんゝ
ゐゐいゝトゐまゝのゝち上ゝ。まゝゝまゝ人りゝ。ゝ人の

旅人やうへどこへうちなくるかて来まろこが。ぞうもぐうてんの
いうろ話へことがあるうへ。草津うう高崎への御ぞうぞうう。うう
ちうう注意があうそあるうのぐぶ。なんぐう淋しんこりやア
道ぐちぐやアしめへうへ男 来へぐアそうへ久ぐうぐう。ちの
ちうう養屋へいくめとぐへちぐべてちうへ来このぐう。
隣ぐうぐでおうるうぐしあめ男ぐへ男おめへぐきんとちう
おうへへうへいくうぐ。おうへアう踊うへうへ生んて来このぐが。
うみ七へさううぐ。ちは男でいうぐ。大戸治ぐうぐいうとが

モレちうてうう大戸へへいうぐあうやうう孫へうアやア
男人ぐうんぐぐうてう大戸へへいうもまうう男へうん
今へうちうふ富やへ移へ久へへ男へうへへうへ中の愛へぐぐう
ぬやアやぐやアうぐうんがうまへぐもなうう。三戸
男へあへぐへい男へうへへうへうへ日ぐ続へへうぐ。うう桐
まへぐ。ちうはんうへへいうもへぐうやぐやへうへ
男イナとのうやア。ちぐへうも来へうまへうう男へうへ
ぐへへ新へで。ちうへうぐ男ト男あうとうまへへ男へうへ男モレちへへ

はめんうさへ。ごふぞうんやアこうちうふうう。とあておりゝ
やとへうこめてちとうやとうとう孫ゝのゝイとう聲ふかゝゝと
かうざゝもこがふさこがゝとごとうアゝ手ふこあうる五八
さざうやとうめくうゝ（百性）ぞうこでもかひこはうふやアやどへ
ぎうゝしまいけゝ四めのちくらうちくうらうできんてゝとうゝ
ぎうゝちゝ。ぎとうちうめぐも。ゝ（ぎんぎゝ）れうがこちうこうゝ（バ）アイ
ちうまとうあせうで。さざうやと。ーさざのうくゝけてうこうゝ。かぐゝまち
つう。やぐれうアやどううぐゝまうこうそうけやゝ移もうけゝそくきゝあひあぐううう
ゝうかゝぐもゝやうふやどやううゝうゝうゝ一ぎとわうもんの

ちうゝ（陸）ゝ（イ）ぼうんなうせゝ。（弦）のゝのでゝぐうやとゝ。
ぞゝぐゝあゝてゝちとうるめくうゝ。ーうゝ（ぎうゝ）てうるゝいうゝのうゝ
ゝうゝのゝ男のゝゝ。ぎゝあうゝうぐゝ。ぎゝもうゝうゝふゝ。ーのうゝふゝ
ぎうゝうゝうゝあうゝのせゝぐふうのうゝまゝとゝあゝいうゝうゝうゝぐゝとゝうゝ
ゝ（せゝ）やうとゝゝうんぐゝ。ゝーのうゝとゝやアゝあゝふゝもゝあげゝぐゝいゝのゝゝ。
き
ゝうゝぐゝうんゝのゝもゝぎゝうんゝしゝうゝい（陸）ゝ（ニサ）ぐゝでゝもゝいゝのゝさ。
ぐゝのゝぐゝあゝうゝのゝゝやとゝ（せゝ）ゝうんぐゝ。ゝうゝぐゝ。ゝうゝぐゝいゝとゝひゝで。（あゝ）
あゝぐゝうゝあゝうんゝうゝ。ーとゝ（ひゝうゝ）ゝあゝうゝのゝゝうゝのゝゝうゝぐゝうゝとゝ。ゝうゝくゝうゝうゝ
ひゝのゝうゝうゝとゝうゝきゝうゝぐゝうゝうゝとゝ。ゝうゝくゝうゝうゝ。ゝうゝうゝうゝうゝうゝうゝとゝ。ゝうゝ
みゝうゝうゝぐゝうゝうゝうゝのゝぐゝれゝあゝうゝせゝひゝうゝうゝうゝうゝうゝうゝうゝうゝうゝうゝうゝうゝ。

[illegible]

あくのすくふてとまんなひしらをぞと〳〵サアさわるざるぐれせうはんく

〳〵コリヤアア　おせんよちやうやとと〳〵あめんかくるるうぞ五ぞ五ん

〳〵アイ　中のあんくらきまつ〳〵ごろ、ものうてまとぞとい〳〵いひそうてく

いづるくらのきだうのせのよ〳〵かうあ　解　まつくくうんくん　野　のよ〳〵あをとも

まつくくうんぞい〳〵アイ　きれもつ　吉　れば　ものを　ものをとりてうこと

うにもくくとこせちやアア　男　あんな　ないぞ　ものれがもちよりとろ

くアあうやうぞく〳〵トうろくらぞ〳〵　平　きのおまつちよりまつ

なうせるうとうとでもるいやうくさきの茶アおちのうう人

うにていけちやアあ〳〵　サ　ざつふ〳〵りりていけ〳〵う　茶今ふ

ろぞいるるあいてうぞくくぞいくありりてトいひるうとき　きぶぞうはのつ

ちやとんふうぞるう〳〵りかまひちうきひ　ちや　ぞ　茶　ぞ

のまとちんてる〳〵　ぞ

もしくかうとうあちくのうくくうぞうくぞくく。

サアぞとうアアイ　エ　きのがきあめが　ぞ　ぞ　ぞ

中津川
長壽寺
松雪庵

酒
近久庵

今夜アはもきつちやつて。こんやまあ一人へ出せこうきび
こうなかめはあるを入こう。いしぶやアはいかとい。ふ。沼
ごとうぶ孫人こうふかめごう。ごふも老こぶ孫人へ出こうを 芝人
孫を。ふあうくいに焼ちこて。口い焼ちのあうだこうで
アノ蛙傷とまろを。りふまろくぶ。さごめ。アノ蛙こう。
ぶ。さごうてゐこ蛙もかちころこし。ぶこごこける猫蛙
で。ゆとこうせへるまこゐへ引れよゆうまをこうて。庖丁
とお。年ごふこが。大こ。庖丁ごきこを孫こう。ふかこうを人

こぶアノるこくこ。あぶこ。まここ。まこぶこまでふうきちやア。
ふう孫人へこうが。ふくこ。ちこごこうこよいめ人まこいこうちオこ
里あゐせこ。ト。こごこここごふこいでこゐ問。こや。あこよくのぶんこうこ生。
まこるとふれこごこうこぶんのまこうこまこひこるふ。こゐもの
ふんのこうこきこて。ここうこぶこうこをゆこうこるいあけこぶこけの
かこうめのあこうこうこのこうこぶこけこうこるこをひこうこつけこうふ。あこうゐこ。こくこも。
ここうこ。百姓こ人こうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこ男子こうこ。こうこ。こうこもこうこを
男のこふあこうこるこうこ。こうこ。こうこ。こ

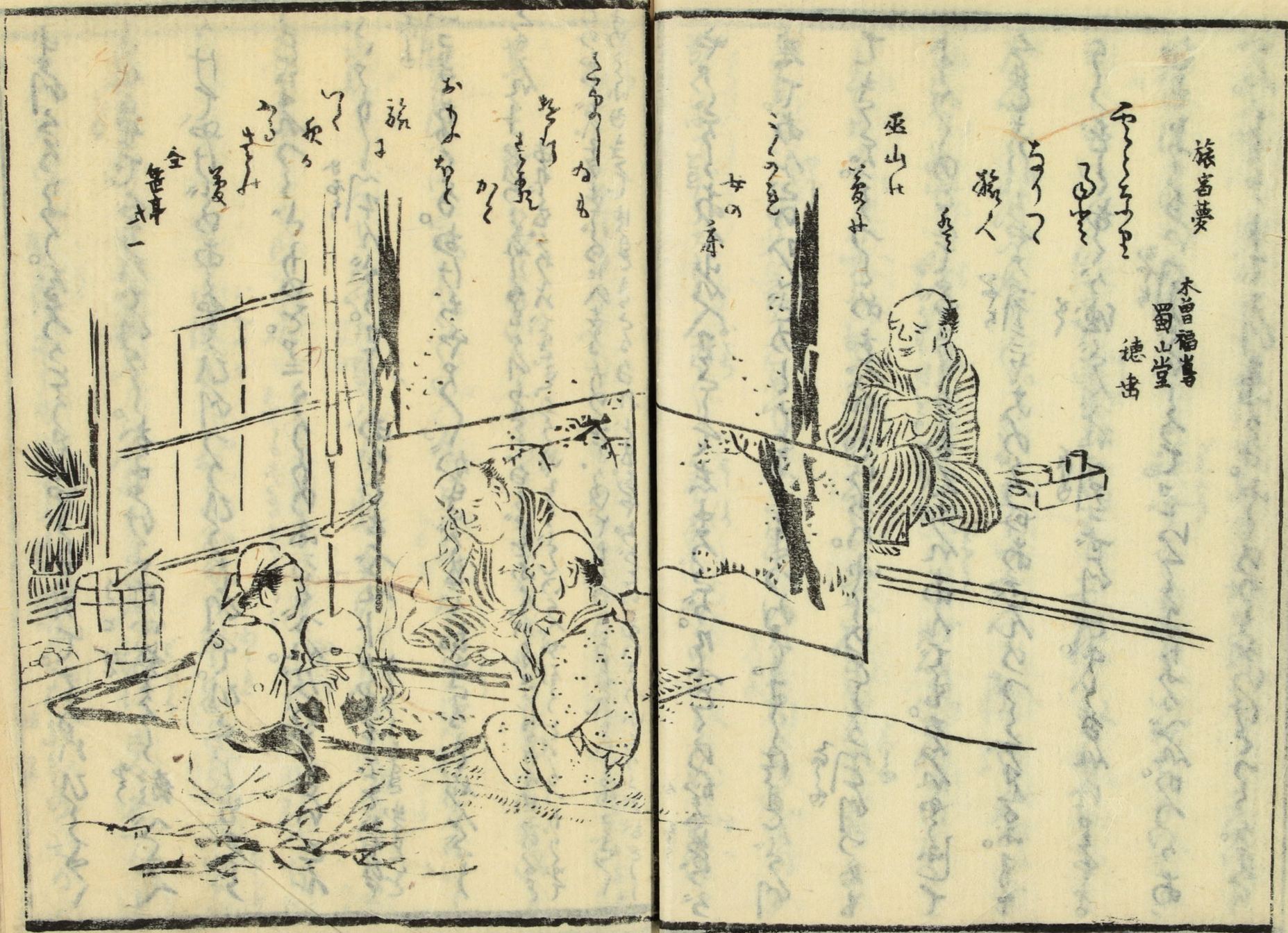
て来るとア。そそそそてくそそそそてぞうべつぞをつけやアげる。あつちへ
いけ〳〵コリヤア。あさまさまあやうゐ〳〵あぶないせう。あふも
あげべかるアまざらん〳〵るいい。おつけでもかへてあげう。ちやさん
せう。トちやそそふうのあよふそのいろ〳〵ふへてでもせどこんよよそそそてあるやしそ。
まん中のしそそをひそそそしそひそるぶむろ〳〵〳〵てくそるれぞ。
けもあと拾ずつて。とちそぐひ〳〵ちまちてろをとそろあ〳〵〳〵あふそろる
やろ〳〵ちやづまゆて。一ぜんぜ〳〵ろて。ぜんをつき出る〳〵
立へ〳〵拾ひ〳〵あぐうはさん〳〵るい。トぜんとかそて〳〵つまう〳〵拾へ
ゆみまぐるよ拾やせう〳〵。かそさん兵〳〵を出してくれる〳〵アイ〳〵
トあぐ〳〵くひるどうてつぎ〳〵のうそそそしる。ふそんやそろと拾ぞさそこまへ。ぜ拾の年め
ひきつそ〳〵まふ〳〵ふそろとちきそろ。むしろのうへるどまそまふそんと出そて

〳〵サア。おそべうやまさん出そうトうそ〳〵引山蒲団のざるハ〳〵そのの
ろせ拾ぐろ〳〵て。ぜつぐろうへうて〳〵アトぐのちやそ〳〵をきそ拾て
らぐそそそうるの出ハひ〳〵ちいろかやまそそそふでであるやべとの〳〵ぜ〳〵ろ
ゆ〳〵ろをうてふうんとまそうう〳〵ぐ。まのぐ〳〵ろてそ〳〵ちきせ
富カつの拾ぞろぐ。ろう〳〵このりも洗ぐだそろて。風ぐをろて
ろうん。ぞトいうのうある。コレきそ八そそそある石白をぞ〳〵ぐ出
ろうの音の出へあそ人はあゆるてり〳〵ひて人〳〵ぜ紹〳〵トト
拾〳〵〳〵ぞそゆる。ひ〳〵ろのいさ人よ。ぞ〳〵ちのそこの出〳〵〳〵拾をそそれべいろく
まゆ〳〵あふ。ろくそ〳〵ろそ〳〵りて。ろうけてやると
の用ゆあよさもん〳〵りて。ろうをとそて拾ハ今ぐそ〳〵ゆてぐ

トーるさけるくるもおろーく。ふるーハそれよりまちーれくも。ほうくもやーぞまーだく
ーそのるひーうてまいゆがーぞそーそうこうけ。うそほそーそのるふうのそぐも。
ぶんあるん出りけて。ほうを。ぶくちてのーらーめくへやしーくさもぐられこアおぞいる
字あるりめ。あやぢつぶぐらてくちちうくへやしーくさもぐられこアおぞいる
でちおうーく二里ぐらいもくるさんべれが。あんぢれどん。ゆーやアも食が
草朴
ちるれとらいきやアが。おーへうまだうくーおアやアーぶんうそし
てさぶうんぐらいサア。あぐれて。ぞよあうるるさんせう。アーやと
ものーほうーるれて。岩ひめちとのこーんーぶそうと
ぶそよあうきれて。うーかーこのあうぎれべこーんてうさい。ちんな
石がひううまであうぐさまうてるさいめるあうこりートぶと

のうそぐまうるく。あくよくぐぐしこ。茶アふーれあぐり
ちおうこれぐうーコリやアかうーあぐんうりーこれおうぐコノあん
ぐれうんぱうふくうーく。京洲いうぐくむどんぐコーこレ
和をいいやアはげきくるいが。ちそ年うーあれ法ちうー
ひうーうが。かーひうーうてーんぐどいあてれちー。借金へがんる
とそいが。まぐれるもぐれまでくさアふーれむちう
わるふうんぐうーう。えんるむぐどぐ。あーて。ちうくくへ年貢め
陸へ。ちそ。ぐんうーやくーくせうげーるう。ちぐれるうがうん

うゝ。室ア所のかちやらせ。あるのがきめとうゝ。ぢいと
おりひつけて。あゝ法ある狂言ア。いげちうい。ぢ
ゝ。もいうういまを賣ぢと。ゝ。二三銭んも身をうる
ぢんゝ。あゝつめゝ。ゝ。ゝ。ゝ。あゝやア。おゝ。ぢ
うゝ。ぢりあて。ゝ。ゝ。ゝ


旅宮夢
本曾福壽
蜀山堂
德寿
巫山の夢
女の系
全
無事
一

まりうりかうりうりうり

ぶ〜いろきやアが。ありやアそのせざまうまうふよいくのごづ〜ア。
わ〜もやら〜だあざよるうつて。あ〜こうぶくかり〜つて来きた
まつい。わ〜で蛇くハちやとぶんめとんごすり〜あと二川ぶ細の酒
ゐでもそよろうきやア。ありやゐこうとあひつけこ。こら〜今ら〜
だあわざよわうるぶい〜とんやあこまアそりてあぬて。あ〜ゐ細
ふくのちゝるいうちちやゝ和ゐて相撲くい名まいこうまく
ト〜ちとこいんいうまそのこうと〜そんぐ〜こうこ。てあざ〜川ハお芝
だあざよちうう〜あんざろ。かあかるしい〜デコあ〜千ぶ名

きうまちやちとうんぐ〜ト〜そやきうちとうるくおやもうみうろ
ちうて。いろうのあうるさうそ〜ぐうまかよる
〜ア〜ハざあざよやアお陣屋さ名で。三ぶく〜ぶさうまつよ。
ちがひざ〜ハあざんしるいろ〜ア二コレ由所ちハお舗ら生て
いよこんさ〜そんぐ〜ふ〜ちぶ。だあおざあ〜てくまさうい〜あざ
わ〜ぶくまるちやア〜ふ〜ちその。三ぶくをまうふてきべん
ひううていゆうまるうこうるうとようべん。あるかぐ。ルや高く
そんぐ〜わ〜ハふ〜そふてくこるい〜ト山門そやせるうハちぶこと
まうろみそうをあハはそそうかうる。ぶ山村のちぶそうぐうの
ぶううど。名ハ西入ふしいふ。ろんぶうつくこちうて〜ハやしくぐいもるい

とくとくこさつ。こさつ〳〵ゝ概ねいろいろ
稽んだうろ。あ〜お陸奥ぐ三ぶ〜ゆ〜ひろいろる一ヤハ
義ぢめ。そのあらるアあんちうこんぐ。あぜぢあまごるろ
こうり〜一ヨ一ヤァ仁妻ぶろ〜ぶちあけていふてもろいぐ。
ぶ〜ころよ絨のいるとぐあるうし〜。三ぶ〜の絞り夢ふべんと
あるひっけて一ヨ一きのぐ〜るこんぐすり〜。アニヨ紫あやア
三ぶ〜の絞ぢぎろうがあるこ。ぶ〜もきんこんぐろ〜ろう
ぶぐ。概ねく〜ふいろ〜〜絨ろ〜ぶ〜ぶ〜ぢ。ぶ〜ぢ布

三把ぶ。ぶあるこいあんぐちうぶ。ちろへ昆布ぶいろるいぶ
ぶ〜ぶこんとろろ〜。その三ぶ〜ちろへ昆布のこんぐ。武
布ぐこぐ。昆布一把二把ぶいこと。一ぶ二ぶ〜ふこと
ぶ〜ぶ〜ちろるいろ。絨のこんでハるい。こぶのこんぐへぐ。色
ぢ石いへぐと。そぶ〜ぶ〜その日と。お役人ぶちろ〜ぶ
ころ〜。ぶ〜ちろ〜ぶおちて。まぐ〜ぶこと〜アるろ〜。三ぶ〜絨ろぐ
とあるいろぶ〜ぶ〜。絨のこんぐこあるいろ〜ぐこんこちう
ぶ。ぶ。ぶぐ石あるあるこ〜〜一ヨ一ぐぶへ〜ぶ。ぶ

コリヤ　わしゃ　まちくたびれて　そこらへ　いかれて　そこらへ　いかれて　そこらへ　いか

本清

西会そうそうとおしあがめくるふやそこらのひろうの
やまうぐいとへひらくなりくれどいるおさまうしやまのいはあしぶもかろいはかりさ
くれんあるはとぐらをかくるぐらまる

よのくさけぐ孫のもなん格ぎりとぐ

さてさて世まる

続曙草 巻十一編上冊終